


提出 順番	No. 8	平成 30年 6月 4日 午前・午後 11時 40分受領
----------	----------	---------------------------------

平成 30年 6月 4日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 内山 美穂子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 町の情報発信が魅力ある町づくりにつながるよう新たな取組を</p>	<p>情報技術の普及や飛躍的な進歩によって情報の発信手段が多様化し、私たちの暮らしや意識が大きく変化しています。幕別町においては広報紙、ホームページなどで行政情報や町の話題を町内外へ発信するほか、登録制の防災情報メールや、PRパンフレットなどで情報発信に努めています。一方で災害時における避難所の一部変更や新たな事業などについて対象者への周知が十分ではない、町の情報に関心がないといった町民の声を聞くことがあり、改善が必要ではないかと認識しています。</p> <p>第6期総合計画では町の将来像を「みんながつながる住まいる まくべつ」とし、目標の一つに「地域や人がつながり行政とともに考え行動する」ことを掲げています。これを実現するためにも情報共有は欠かせません。目標に向かって情報発信の現状を検証し改善していくことが大切です。町民が「住みやすい町」だと感じ、自分の町に愛着を持ち主体的に行動する気になってもらえるような情報発信を目指し一層の工夫が必要と考えます。</p>

さらに幕別町では様々な分野で活躍された方々の映像や写真などを過去の記録として保存しています。特に高木姉妹の功績を称えるパブリックビューイングやパレード、報告会など一連の祝賀行事については多くの町民が熱い視線を送り一体感が生まれました。こうした記録映像や数々の写真などは次世代に伝える貴重な財産であり、町づくりに活用していくことも大切なことだと考えます。

全国的に動画を活用した情報発信に力を入れる自治体が増えてきました。オホーツク管内津別町は地域おこし協力隊員が町の広報番組を制作してホームページ、公共施設のデジタルサイネージや病院などに設置されたモニターに配信しています。幅広い世代からの支持があり移住の動きにも結び付くなど町づくりに大きな役割を果たしています。各自治体の置かれている環境や事情によって手法は異なりますが、映像による情報発信は町をより身近に感じ関心を持ってもらうために有効だと考えます。以下について伺います。

- ① 広報紙やホームページなど情報発信の現状と活用
の成果をどのようにとらえているか。
- ② 町内外の幅広い世代に関心を持ってもらえるよう、
スマホ対応のアプリや SNS、またテレビのデータ放
送など複数の広報媒体を組み合わせ、それぞれの特
徴を生かして情報発信をしてみてもどうか。
- ③ 公共施設にデジタルサイネージを設置し、映像によ
る町の情報発信を考えてみてはどうか。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。